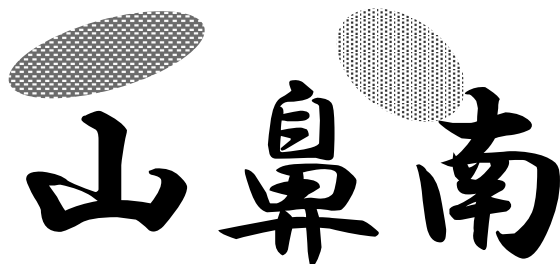


～ ねがいに満ちる学校 ～

学校だより特別号



令和7年(2025年)10月21日
札幌市立山鼻南小学校
Tel 532-8340
Fax 532-8341



全国学力・学習実施状況調査

本校の結果と分析のお知らせ(6年生対象)

今年の4月、6年生を対象に実施された【全国学力・学習実施状況調査】について、本校の調査結果をお知らせいたします。

札幌市では、子どもたちの「学ぶ力」を育成するために「主体的に学習に取り組む態度」「基礎的・基本的な知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」をバランスよく育む教育の充実を目指しています。本校でも、これらの視点を大切にした教育活動を進めており、今回の結果についても、全国の結果と比較・分析し、本校の教育活動の充実に生かしていきます。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面であることを、ご理解いただきたく存じます。

全国学力・学習実施状況調査の内容(6年生対象)

① 教科に関する調査 (国語、算数、理科)

※(1)(2)を一体的に出題

(1) 主として「知識」に関する問題	(2) 主として「活用」に関する問題
・身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	・知識・技能等を実生活の様々な場面に応用する力 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

② 生活習慣や学習環境に関する質問調査

・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

【国語】本校 6 年生の調査結果概要および改善の方向

本校 6 年生の概要

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
▼全国の平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「情報の扱い方に関する事項」
△全国の平均に比べ、大きく上回っている。
- 「我が国の言語文化に関する事項」
△全国の平均に比べ、上回っている。
- 「話すこと・聞くこと」
△全国の平均に比べ、上回っている。
- 「書くこと」
△全国の平均に比べ、上回っている。
- 「読むこと」
△全国の平均に比べ、上回っている。

今回の調査における課題

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」が、全国の平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる設問の正答率が低かった。

改善の方向

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の学習において、漢字を文の中で正しく使うことができるように指導していく必要がある。新出漢字の読み方や書き方を覚えるだけでなく、その漢字のもつ意味を確認したり、文の中で使ってみたりするなど、日常生活で活用できるような力を身に付けさせていく。

【算数】本校 6 年生の調査結果概要および改善の方向

本校 6 年生の概要

- 「数と計算」
△全国平均に比べ、大きく上回っている。
- 「図形」
△全国平均に比べ、大きく上回っている。
- 「測定」
△全国平均に比べ、大きく上回っている。
- 「変化と関係」
△全国平均に比べ、大きく上回っている。
- 「データの活用」
△全国平均に比べ、大きく上回っている。

今回の調査における課題

- どの領域も、全国平均に比べ、大きく上回っている。また、全ての設問において、全国平均を上回っている。

改善の方向

- 質問紙調査では、「算数の勉強は好きですか」「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか」等の設問に対して、肯定的な回答の割合が高かった。今後も、学習の内容を日常生活と関連付けて考えられるよう意識し、算数を学ぶことを楽しいと思えるよう、学習活動の充実を図る。

【理科】本校 6 年生の調査結果概要および改善の方向

本校 6 年生の概要

- 『『エネルギー』を柱とする領域』
△全国の平均に比べ、上回っている。
- 『『粒子』を柱とする領域』
△全国の平均に比べ、上回っている。
- 『『生命』を柱とする領域』
△全国の平均に比べ、上回っている。
- 『『地球』を柱とする領域』
△全国の平均に比べ、大きく上回っている。

今回の調査における課題

- どの領域も、全国平均に比べ、上回っている。しかしながら、いくつかの設問で、全国平均を下回っていた。特に『『粒子』を柱とする領域』において、正答率が低かった。

改善の方向

- 「電気が通る回路を実際の生活の中で作ること」についての理解に課題が見られた。また、「化学変化を原子や分子のモデルで表すこと」にも課題が見られた。
- 問題解決や科学的な探究のプロセスを考える学習を通して、身に付けた知識を活用することができるような指導の充実を図る。

【児童質問紙調査】 本校 6 年生の調査結果概要

全国と比較して肯定的な回答の割合が高いもの

- ☐朝食を毎日食べていますか。
- ☐毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
- ☐学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ☐自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ☐分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできますか。
- ☐これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか。
- ☐人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ☐地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- ☐算数の勉強は好きですか
- ☐算数の授業の内容はよく分かりますか
- ☐算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- ☐算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか
- ☐算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか
- ☐小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか
- ☐理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていますか
- ☐理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか
- ☐健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか

全国と比較して肯定的な回答の割合が低いもの

- あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができますか。
- あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか。
- あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか。
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
- 算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか

【児童質問紙調査】改善の方向

「児童質問紙調査」から、生活リズムが整っていることや、朝食をきちんととることなど、基本的な生活習慣が身に付いていることが分かりました。

学校生活の中では、自分と違う意見について考えたり、自分で学び方を考え、工夫したりと、**仲間と協働しながら主体的に学習している**ことが分かりました。算数や理科の学習についての質問に対して肯定的な回答の割合が高く、前向きな気持ちで学習していることが分かります。授業で得た知識や能力を、問題を解くためだけの力とするのではなく、普段の生活の中で活用する意識をもつことによって、**学ぶ意義が深まっている**と考えられます。

また、「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」など、学校集団だけにはとどまらずに、**地域や社会に貢献したい**という気持ちが高いことが分かりました。

その一方で、ICT 機器の活用に関する質問については、肯定的な回答の割合が低くなっていました。この回答の結果から、子どもたちの「**もっと様々な場面で ICT 機器を活用したい**」という思いが汲み取れるのではないのでしょうか。学習活動の中で ICT 機器を活用する場面を増やし、より効果的な活用の仕方を模索し、活用する力を伸ばしていく必要性を感じました。

別の質問の回答からは、授業や学級会の中で、「**もっと自分の考えや思いを伝えたい**」という子どもたちの思いが汲み取れます。**ICT 機器を活用する場面と、子どもたち自身の声を伝え合う場面の両方を大切にした学習活動**を考えていかなければいけません。

全国学力・学習実施状況調査を受けた本校の今後の方向性

本調査の結果から、国語・算数・理科の学力面については、ほとんどの観点において、全国と比較して正答率が高いことが分かりました。そのため、より**今後の課題が焦点化**されました。

本調査における成果や課題を踏まえ、本校では「**学ぶ意欲の向上**」「**基礎的・基本的な知識・技能の定着**」「**思考力・判断力・表現力の育成**」に向けた取組を充実させるとともに、**学校での学びと実生活を結び付けられる学び、学習習慣づくりを一層進めて**いきます。

また、その取組やその他の学校生活の中で、仲間と温かくつながりながら子どもたちが**自己肯定感や自己有用感を高めて**いけるよう**認め合いの場を大切**にしていきたいと思えます。

今後とも、温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。